

静岡県保険医協会西部支部 研究会のご案内

非アルコール性脂肪肝疾患

NASH/NAFLD 診療における最近の話題

講師より

飲酒習慣がない脂肪肝はこれまで病的意義が乏しいとされてきたが近年肝硬変や肝臓がんになることが明らかにされ我が国で問題となりつつある。メタ解析では本疾患のアジアおよび欧米での罹患率は全人口の4分の1であり肝臓疾患で患者数最多の疾患である。

本疾患は慢性進行性のNASHでは線維化の進行に伴い肝硬変になることがわかってきたが近年NASHでなくとも脂肪肝であればゆっくりではあるが線維化が進行することが明らかにされた。診断はこれまで肝生検がなされてきたが近年非侵襲的診断方法において目覚ましい進歩が認められた。病態は腸内及び口腔内細菌のエンドトキシンの関与が我々を含め多くの研究者が報告しているがその詳細はまだ未解明部分が多い。治療法は減量などの生活習慣の改善が基本である。保険適応のある治療薬はいまだ認可されていない。ただし歯周病の合併例ではその治療により肝機能の改善を認める。本疾患では高率に心血管イベントを起こすことも知られおり脂質異常症などのリスク因子のコントロールも重要である。

【日時】 2017年1月13日(金) 19時30分～21時

【講師】 中島 淳 氏

(横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学教室 主任教授)

【会場】 アクトシティ浜松コンgresセンター 43会議室

※駐車場のご用意はございません。あらかじめご了承ください。

【対象】 医師・歯科医師・スタッフ

【定員】 70名程度 【参加費】 無料

※参加ご希望の方は、下記申込票に記載のうえ、FAXにてお申し込み下さい。

参加申込票 FAX 054-281-7473

1/13(水) 「非アルコール性脂肪肝疾患 NASH/NAFLD 診療における最近の話題」

医療機関名

申込人数 名

院長名

市・町